

## 神奈川県立金沢支援学校 学校運営協議会開催結果

本校の学校運営協議会を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県立金沢支援学校 第1回学校運営協議会・学校評価部会		
開催日時	令和6年6月12日(水)		
開催場所	金沢支援学校 会議室		
(役職名) 出席者	令和6年度金沢支援学校 学校運営協議会委員 11名(本校校長を含む) 令和6年度金沢支援学校 学校運営協議会事務局教職員 8名		
次回開催予定日	令和6年10月30日(水) 予定		
問い合わせ先	金沢支援学校 副校長 川島 結子 電話 045-770-0456 Fax 045-775-4121		
下欄に掲載するもの	議事録	議事概要とした理由	
審議(会議)経過	<p>内容：令和6年度金沢支援学校 学校運営協議会委員 11名から、会長・副会長の選任および今年度の学校運営に係る1～5について承認をいただきました。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 学校運営協議会運営計画</li> <li>2 令和6年度金沢支援学校ランドデザイン</li> <li>3 令和6年度金沢支援学校の教育課程、学校運営組織</li> <li>4 令和6年度学校予算状況及び学校施設設備等の状況</li> <li>5 令和6年度学校運営基本方針(学校教育計画・学校目標)</li> </ol>		
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度第1回学校運営協議会・学校評価部会 次第</li> <li>・学校運営協議会委員名簿</li> </ul> <p>資料1 神奈川県立学校に設置する学校運営協議会の運営等に関する要綱</p> <p>資料2 学校運営協議会運営計画書</p> <p>資料3 令和6年度金沢支援学校ランドデザイン</p> <p>資料4 令和6年度金沢支援学校 教育課程</p> <p>資料5 令和6年度学校運営組織</p> <p>資料6 学校予算状況及び学校施設・設備等の状況</p> <p>資料7 学校教育計画 (学校のミッション、学校教育目標、計画策定時点での課題、4年間の目標と主な方策)</p> <p>資料8 令和6年度 金沢支援学校 学校目標</p> <p>資料9 各教育部門、グループの学部教育目標</p> <p>資料10 令和6年度学校運営協議会設置部会について</p>		

## 議 事 録

### 【ご質問・ご意見】

(学校運営協議会より)

(A委員) グランドデザインもよく考えられていてよいと思う。学校教育目標で教育的ニーズを受けて、自立と社会参加を目指す学校、支援の必要な児童生徒への教育となっている。

(G委員) 高等部教育課程について学習内容や進路先はどうなっているか。

(教務GL) 現在、校内外での実習を行っている。本校では3つの作業グループにわかれて(農作業 外部からの受注作業 革工芸)で作業学習をしている。進路先については今年の3年生は本校からは特例子会社、就労継続B型、生活介護施設など。分教室からは一般障害者雇用、就労移行、就労継続A型B型、自立訓練などである。

(学校評価部会より)

(A委員) センターの機能とは何なのか。

(連携支援 GL) 巡回相談を通じて課題のある児童生徒への課題解決への支援。

(教務 GL) 教材教具展を通して支援の必要な児童生徒への支援につなげる。

地域にむけて専門性を発揮することとらえている。

(G委員) センターの機能をつかって支援してもらった。子どもたちは特性がいろいろある。担任は、どのような指導をすべきか悩んでいることがある。明確なアドバイスがあることはありがたい。今後も連携を密にして助言いただきたい。

(A委員) 横浜市は支援教育を頑張っている。ある小学校は特別支援学級に90人受け入れている事例もある。学校では担任配置が大変だろう。特別支援学級の担任数が相当数いることを把握している。

(連携支援 GL) 支援級の教員自身が課題の発見に困っている。課題を整理したりすることでもセンター的機能を利用できる。児童生徒の課題を考えること、手立ての考え方、実態把握の方法、指導方法などのノウハウを伝えていくこととしている。

(H委員) 金沢支援で行う教材教具展のチラシがほしい。教科書の教え方はできる教員は多いが一人一人にあわせた教材教具のつくり方のヒントになる。県立と市立の境はあるが、こういう機会を生かしたい。

(教務 GL) チラシができればお渡しする。ホームページに「支援の知恵袋」のコーナーがあるのでそれも参考にしてほしい。

(D委員) スクールバス利用児童が多い中、隣席の児童に手を出さず児童がいるがベルト等の着用が気になることがある。当施設でも身体的虐待や支援者虐待にあたらないようなベルト着用を求められている。ベルト装着のルールが厳格化されてきている中でどう取り組んでいこうとしているか。

(指導健康 GL) 安全を第一にしているが、支援を減らすことについてはまだできていない。今後も乗車確認をしながら適切な支援を考えたい。卒業後の公共交通機関の利用に向け、高等部は支援を減らしていきたい。段階を踏みながら支援を考えていく。

	<p>(D委員) 入学時のベルト着用からどう減らしていくか。法的な指導も入っている。</p> <p>(K委員) どのように工夫されているか。</p> <p>(D委員) 隣の子どもの席の組み合わせなど、悩ましいところではある。</p> <p>(C委員) 初めて参加しての感想。いろいろな取り組みを始めて知った。企業として今の取り組みに対して企業がどこまで協力できるか考えていた。全ての生徒が就労につながってはいない。一部の就労メンバーを見がちになるが全体的な学校運営があるだろう。その中で企業側がどう関わられるか考えさせられた会だった。今後どのように関わっていくかを考えていた。</p> <p>(A委員) 貴社で就職につながった人も多い。すごい企業。</p> <p>(E委員) 生徒数が増えている。事業のスケールアップが課題となっている。必要なときに通っていただき、それをゴールとするのではなく、どのように成長して次のステージにあがっていくのかを考えていく。今日の説明の中で系統的な関わりがあるが、小学部から高等部へそれが続くことが必要になるだろう。今後の関わりを深めることを考えていく。</p> <p>(I委員) 自分の経験としては分教室のある高校勤務が多い。分教室がないことが寂しいこともあった。分教室生徒のあいさつや笑顔がうれしく感じる。自分自身が勉強になる。昨年から何か一緒にできることがないかを考えている。体育祭で参加できる競技が増えたり、もっと行き来ができる授業も考えたい。分教室の先生方が大変そうに見えるときがある。分教室教員の朝と退勤時の様子が疲れているなど見えることがある。</p> <p>(A委員) 舞岡は分教室の草分けです。</p> <p>(I委員) 何かイベント的なことができないかなと考える</p> <p>(J委員) わからないこともあった。これからもよろしくお願ひしたい。</p> <p>(A委員) A部門の校外行事の系統性は大切。同じ場所でも、ねらいや内容が違う。小学部Bの生活の学習。生活科とは違うもの。児童生徒の自立と社会参加を考えると大切である。見直していく取組は大切。高等部。生徒に応じた仕様でパソコンを使う。パソコンを与えることが大切でなく、生徒に応じた利用法を考えることが重要。中学部Bの理学療法士や作業療法士の見方を取り入れることや連携することは大切。専門職や専門家と連携することは教員の専門性を高めるもの。それを目指すことは大切なことです。</p>
<p>学校長あいさつ</p>	<p>本日は貴重なご意見ご感想お褒めの言葉ありがとうございました。職員全体で受け止めてまいります。時間が足りない中でもっとお話を聞きたいところではありますが、限られた時間の中でご意見をいただきました。私たちができることにつなげていきたいと思ひます。ありがとうございました</p>
<p>会長あいさつ</p>	<p>皆様の貴重なご意見ご質問をもとに、今後に生かしていきます。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>